

2021 年 3 月 17 日

京都大学 iPS 細胞研究財団 (CiRA_F)

発足 1 周年記念活動報告会 本日より申し込み受付開始

■概要

公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団® (以下 CiRA_F) は昨年 4 月 1 日に発足し、「最適な iPS 細胞技術を良心的な価格で届ける」を理念に 1 年間活動してまいりました。発足にあたって、多くの皆様にお披露目し活動へのご理解もいただけるよう、当初式典などを計画していましたが、コロナウィルス感染拡大が重なり、大々的に告知することなく活動開始に至りました。

この度発足 1 年を記念して、**2021 年 4 月 23 日(金) 15:00~16:00**に、オンライン上にて

「**公益財団法人 京都大学 iPS 細胞研究財団 発足 1 周年記念 活動報告会**」を行う運びとなりました。日ごろから温かいご支援をくださっている寄付者の皆様をはじめ、関係者の皆様、活動にご興味をお持ちの方々、マスメディアの皆様などにご参加いただけますと幸いです。詳細は、別添のポスターをご確認ください。

お申し込み方法：別添のポスターに記載の専用フォームよりお申し込みください。

お申込み締切：2021 年 4 月 21 日(水)

■公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団 (CiRA_F) について

当財団は、国立大学法人京都大学から一部の機能を分離して活動を開始した公益財団法人です。京都大学 iPS 細胞研究所 (CiRA) が 2013 年度から実施してきた再生医療用 iPS 細胞ストックプロジェクト*について、事業移管を行い、引き続き推進しています。あらかじめ様々な品質評価を行った上で、再生医療に使用可能と判断できる iPS 細胞株をアカデミア・企業等の皆様に提供しています。

当財団は、iPS 細胞を用いた製品の製造、品質評価、細胞保管等の受託事業や、製造に関する SOP (標準作業手順書) の公開等にも取り組み、再生医療の実用化に貢献します。

*iPS 細胞ストックプロジェクトとは

HLA (ヒト白血球型抗原) 型を、ホモ接合体 (免疫拒絶反応が起きにくい組み合わせ) で持つ健康なドナーから iPS 細胞を作製・保管するプロジェクト。これまでに HLA 型で 4 種類、7 名の方にご協力いただき、27 株の iPS 細胞を作製しており、日本人の約 40% に使用することが可能です。日本人の 80% までをカバーするためには 75 種類の HLA ホモの型から株を作製する必要があり、時間と費用の課題も多いことから、HLA 遺伝子のうち、免疫に大きく関わる部分を破壊した「HLA ゲノム編集 iPS 細胞」の提供準備にも取り組んでいます。

取材などに関するお問い合わせ先：

公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団 (CiRA_F)

広報室 中上 (なかうえ)

TEL: 075-761-3363

Email: contact@cira-foundation.or.jp

※当日の接続やログインなど参加に関する内容は、

4 月活動報告会担当 cira_f.event@c-linkage.co.jp / 075-231-6357 まで